

令和7年度 シラバス

| | | | | | |
|------|----------------------|-----|--------------|----------|--------|
| 教科 | 国語 | 科目 | 論理国語 | 学年 学科 類型 | 3年 理数科 |
| 単位数 | 2 | 教科書 | 精選 論理国語(三省堂) | | |
| 副教材等 | 精選 論理国語 学習課題ノート(三省堂) | | | | |

| | |
|-------|---|
| 学習の目標 | <p>1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしましょう。</p> <p>2 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしましょう。</p> <p>3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養いましょう。</p> |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を収集し活用しながら他者との対話を通して、深い理解を目指します。 ・教材の解釈や報告、発表などの言語活動を積極的に行うことを通して、自己の思いや考えを深めたり広げたりします。 ・言葉を通して他者や社会に関わり、読書に親しむことで自己の向上を目指します。 |

| 学期 | 単 元 | 学習活動とねらい |
|---------|---|--|
| 1 学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・「情報社会」を生きるⅡ ・言葉を見つめるⅡ ・共生社会を創造する | <ul style="list-style-type: none"> ・情報社会を生きるためのメディアリテラシーについて自分の考えをまとめる活動を通して、論理的、批判的に考える力を伸ばします。 ・社会的視点から言葉について考え、言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる態度を養います。 ・共生社会の実現に向けた課題について考え、発表などの言語活動を通して、自分の思いや考えを広げたり深めたりします。 |
| 2 学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・経済について考える ・国際社会を考える ・心と向き合う | <ul style="list-style-type: none"> ・経済との関わりから社会的課題について考え、必要な情報を収集し活用しながら課題解決の方策をまとめ、創造的に考える力を養います。 ・これからの国際社会の課題について資料を読んで考え、他者との対話を通して深い理解を目指します。 ・心について様々な視点から考え、考えたことや発見したことを文章にまとめる活動を通して、自分の思いや考えを広げたり深めたりします。 |
| 3 学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・「リスク社会」を生きる ・近代・現代社会を考える | <ul style="list-style-type: none"> ・「リスク社会」について、資料を用いて考察する活動を通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けます。 ・現代社会を歴史の中で捉え直すことで、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。 |

評価の観点と方法

| | ① 知識・技能 | ② 思考・判断・表現 | ③ 主体的に学習に取り組む態度 |
|------|--|--|---|
| 評価規準 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。 | 「書くこと」、「読むこと」の2領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。 |
| 評価方法 | 定期考査、課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価 | 定期考査、課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価 | 課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価 |

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

| | | | | | |
|------|--------------------------|-----|--------------------|----------|--------|
| 教科 | 国語 | 科目 | 古典探究 | 学年 学科 類型 | 3年 理数科 |
| 単位数 | 2 | 教科書 | 高等学校 精選古典探究(第一学習社) | | |
| 副教材等 | 高等学校 精選古典探究 学習課題集(第一学習社) | | | | |

| | |
|-------|--|
| 学習の目標 | <p>1 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしましょう。</p> <p>2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしましょう。</p> <p>3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養いましょう。</p> |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を収集し活用しながら他者との対話を通して、深い理解を目指します。 ・教材の解釈や報告、発表などの言語活動を積極的に行うことを通して、自己の思いや考えを深めたり広げたりします。 ・言葉を通して他者や社会に関わり、読書に親しむことで自己の向上を目指します。 |

| 学期 | 単 元 | 学習活動とねらい |
|---------|--|---|
| 1 学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・古文編 説話(二) 随筆(三) 物語(四) ・漢文編 逸話 諸家の文章 | <ul style="list-style-type: none"> ・二人の有名な歌人についての話し合い活動を通して、平安時代の古典常識や和歌について理解を深めます。 ・随筆に見られる先人のものの見方や考え方を読み解く活動を通して、自分の考えを広げます。 ・貴族の生活と年中行事を調べまとめる活動を通して、我が国の伝統的な文化について理解を深めます。 ・寓話の理解を通して、古典に親しみます。 ・読み比べ活動を通して、人物像とその考えを理解し、伝え合う力を高めます。 |
| 2 学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・古文編 評論(一) 評論(二) 日記(二) ・漢文編 漢詩の鑑賞 諸家の文章 | <ul style="list-style-type: none"> ・長編物語を読んで、人物造形や心理描写に触れ、我が国の言語文化に対する理解を深めます。 ・女性による日記文学作品を読み、先人のものの見方や考え方に触れ、自分の考えを広げたり深めたりします。 ・登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深めます。 ・漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して、自己の考えを広げ、伝え合う力を高めます。 |
| 3 学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・古文編 物語(五) 物語(六) ・漢文編 史記の群像 | <ul style="list-style-type: none"> ・物語を読んで、登場人物の行動とそれを支える思想や歴史的背景を理解し、自己の考えを深めます。 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、先人のものの見方や感じ方、考え方を読み解く活動を通して、自分の考えを広げたり、深めたりします。 ・古代中国の人々の想像力と考え方に触れ、豊かに想像する力を伸ばします。 |

評価の観点と方法

| | ① 知識・技能 | ② 思考・判断・表現 | ③ 主体的に学習に取り組む態度 |
|------|--|--|---|
| 評価規準 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。 | 「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。 |
| 評価方法 | 定期考査、課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価 | 定期考査、課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価 | 課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価 |

(備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

| | | | | | |
|------|--|-----|----------------------------|----------|--------|
| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 地理探究 | 学年 学科 類型 | 3年 理数科 |
| 単位数 | 3 | 教科書 | 新詳 地理探究（帝国書院）・新詳高等地図（帝国書院） | | |
| 副教材等 | 新詳地理資料 COMPLETE 2024（帝国書院）、地理総合・探究ワークブック2024（愛媛県高教研地理歴史・公民部会地理部門）、地理統計要覧2025年版（二宮書店） | | | | |

| | |
|-------|---|
| 学習の目標 | 社会事象の地理的な見方・考え方を身に付け、課題を追及したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付けます。 |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・地理総合の学習をふまえ、教科書・地図帳を基本教材としつつ、豊富な資料(図表・写真)を活用しながら地理の見方・考え方を高めていきましょう。 ・単元ごとの学習課題に主体的に取り組みながら、現代世界の地理的な理解を深めながら、思考力・判断力・表現力を育成する学習を進めていきましょう。 |

| 学期 | 単 元 | 学習活動とねらい |
|-------------|---|---|
| 1 学 期 | 第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 第2章 資源と産業 第3章 交通・通信と観光、貿易 第4章 人口、村落・都市 第5章 生活文化、民族・宗教 | <ul style="list-style-type: none"> ・第1部では、現代世界における地理的な諸事象を、自然環境、資源と産業、交通・通信と観光、人口、村落・都市、生活文化、民族・宗教などの項目別に取り上げ、空間的な傾向や規則性、関連する課題の要因などを系統地理的に考察します。 ・世界の諸課題を地球的視野でとらえ、その対策や持続可能な社会のあり方について探究していきます。 ・気候変動の影響や農業と食料需給の地域性など、討論、論述により深く考察していきます。 |
| 2 学 期 | 第2部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の研究 | <ul style="list-style-type: none"> ・第2部では、第1部で学習した現代世界の系統地理的な特徴を、視点を変えて地域的な枠組みでとらえ、国や国家群、類似した特徴を持つ地域といった地域ごとに、地誌的に考察します。 ・現代世界の諸地域について、多様な事象を項目ごとに整理して考察したり、類似的または対照的な性格の二つの地域・国を比較して考察します。 ・第3部では、日本の国土を主な対象地域として、地理的な諸課題の解決方向性や、将来の国土のあり方を構想します。 |
| 3 学 期 | 課題研究 | 地理探究のまとめとして、自然災害、食料やエネルギー資源の自給率の低下、少子高齢化、地域格差など、日本が抱える諸課題について、多面的・多角的に探究を深化させよう。 |

評価の観点と方法

| | ① 知識・技能 | ② 思考・判断・表現 | ③ 主体的に学習に取り組む態度 |
|------------------|---|---|--|
| 評 価 規 準 | 地理に関わる事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 | 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。 | 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深めている。 |
| 評 価 方 法 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、単元評価 ・レポート ・小テスト | <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、単元評価 ・レポート ・パフォーマンス評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況、行動の観察 ・ポートフォリオ評価 ・提出物(ノート、課題) |

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

| | | | | | |
|------|----|-----|--------------------|----------|--------|
| 教科 | 理数 | 科目 | 体育 | 学年 学科 類型 | 3年 理数科 |
| 単位数 | 3 | 教科書 | 現代高等保健体育 改訂版 (大修館) | | |
| 副教材等 | | | | | |

| | |
|-------|---|
| 学習の目標 | <p>1 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けます。</p> <p>2 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養います。</p> <p>3 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養います。</p> |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動、球技・武道(選択)、ダンス・陸上競技(選択)を通して、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てます。 ・体育理論では、豊かなスポーツライフの設計の仕方について学びます。 |

| 学期 | 単元 | 学習活動とねらい |
|---------|--|--|
| 1 学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 ・選択1 (球技【ソフトボール・バレーボール・テニス・バドミントン】・武道) ・体育理論 | <ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することを学びます。 ・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解します。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることを目指します。 |
| 2 学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 ・ダンス ・選択1 (球技【サッカー・バスケットボール・テニス・バドミントン】・武道) ・体育理論 | <ul style="list-style-type: none"> ・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。 ・宇和島東高校で受け継がれている動きを表現します。テーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で対極の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現することで、イメージを具現化した作品にします。 ・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることを目指します。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について学習を主体的に取り組むようにします。 |
| 3 学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・選択1 (球技【ソフトボール・バレーボール・テニス・バドミントン】・武道) | <ul style="list-style-type: none"> ・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 |

評価の観点と方法

| | ① 知識・技能 | ② 思考・判断・表現 | ③ 主体的に学習に取り組む態度 |
|------|---|---|---|
| 評価規準 | <p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。</p> | <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> | <p>生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。</p> |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス評価 ・小テスト | <ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート ・小テスト | <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・行動の観察 |

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

| | | | | | |
|------|--|-----|---|----------|--------|
| 教科 | 外国語 | 科目 | 英語コミュニケーションⅢ | 学年 学科 類型 | 3年 理数科 |
| 単位数 | 4 | 教科書 | ELEMENT English Communication III (啓林館) | | |
| 副教材等 | Vision Quest総合英語 Ultimate 2nd Edition、 Vision Quest New English Grammar 47 WORKBOOK、英単語ターゲット1900、Next Stage | | | | |

| | |
|-------|---|
| 学習の目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 日常的な話題や社会的な話題について、情報などを整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりする力を身に付けます。 2 様々な話題の英文を読み、文の構造を把握するとともに、内容的確に理解する能力を養います。 3 CEFRのB1以上の取得を目標とします。 |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業は、教科書の文章を読んでおくことが前提になります。教科書本文を段落構成に注意しながら読み、各段落の要点をつかんだ上で授業に臨みましょう。自分の力で取り組む習慣を継続しましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や文法書を利用して、自分で調べ、正確な英語を発信できるようになりましょう。 |

| 学期 | 単 元 | 学習活動とねらい |
|-------------|-------------------------------------|--|
| 1 学 期 | Lesson 1 Energy | <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスに関するグラフを読み取り、二酸化炭素の排出量を削減する方法について自分の考えを書きます。 ・地球温暖化について、写真やグラフを見ながら、自分の考えや意見を伝えあうことができるようになることを目標とします。 |
| | Lesson 2 Environment and Life | <ul style="list-style-type: none"> ・環境に関するSDGsへの興味の度合いを表すグラフの特徴を読み取り、SDGsを促進する方法について自分の考えを書きます。 ・自然保護について、写真やグラフなどのスライドを使って発表することができるようになることを目標とします。 |
| | Lesson 3 Health and Life | <ul style="list-style-type: none"> ・健康のためにすべきこと、すべきでないことについての話し合いをもとに、どのように健康的な生活を送るかについて自分の考えを書きます。 ・日本人の睡眠時間について、グラフを見ながら、状況を説明したり、自分の考えや意見を理由を付けて伝えることができるようになることを目標とします。 |
| | Lesson 4 Humans and Technology | <ul style="list-style-type: none"> ・対面とオンラインでのコミュニケーションを比較し、コミュニケーション技術が人を孤独にするかどうかについて、自分の考えを書きます。 ・インターネットの良い点と悪い点について自分の考えや意見を理由を付けて伝えることができるようになることを目標とします。 |
| 2 学 期 | Lesson 5 Diversity | <ul style="list-style-type: none"> ・講演の案内を読んで、多様性を尊重する社会にするために、どちらの講演内容がより役立つかについて、自分の考えを書きます。 ・家事労働時間の男女差について、挿絵やグラフを見ながら、自分の考えや意見を、理由を付けて詳しく伝えあうことができるようになることを目標とします。 |
| | Lesson 6 Education | <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン大学と海外留学のメリットとデメリットを比較し、ロールプレイで相手を説得する活動を行います。 ・大学進学の意味について、まとまりのある文章で、自分の考えを詳しく書くことができるようになることを目標とします。 |
| | Lesson 7 Miracles of Nature | <ul style="list-style-type: none"> ・生物の持つ驚くべき能力の中から、どのような能力を人間生活に生かしたらよいかについて話し合います。 ・社会支援プロジェクトについての英文を読み、理由を示しながら、まとまりのある文章で、自分の考えを詳しく書くことができるようになることを目標とします。 |
| | Lesson 8 Sustainable Development | <ul style="list-style-type: none"> ・昔と今の生活を比較して、科学技術によって私たちの生活が環境に優しいものになったかについて、自分の考えを書きます。 ・食品廃棄物について、グラフを参考にしながら、自分の考えや意見を、理由を付けて詳しく伝えあうことができることを目標とします。 |
| 3 学 期 | Lesson 9 Art and Heart | <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聞きながら勉強することに対する賛成意見と反対意見を考え、それに対する自分の意見を書きます。 ・読んだ物語について、場面に合う表現を使って、登場人物の考えや気持ちを伝えあうことができるようになることを目標とします。 |
| | Lesson 10 Human Relationships | <ul style="list-style-type: none"> ・高校生活で思い出に残ったイベントについて話し合い、ロールプレイで相手にインタビューを行います。 ・高校生活の思い出に関する質問について、準備しなくても自分の考えや気持ちを答えることができるようになることを目標とします。 |

評価の観点と方法

| | ① 知識・技能 | ② 思考・判断・表現 | ③ 主体的に学習に取り組む態度 |
|--------------|---|--|--|
| 評価 規 準 | 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 | コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができている。 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |
| 評価 方 法 | 定期考査、パフォーマンステスト、小テスト | 定期考査、パフォーマンステスト、レポート課題 | 言語活動への参加状況、パフォーマンステスト |

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

| | | | | | |
|------|--|-----|--|----------|--------|
| 教科 | 外国語 | 科目 | 論理・表現Ⅲ | 学年 学科 類型 | 3年 理数科 |
| 単位数 | 2 | 教科書 | Vision Quest English Logic and Expression III(啓林館) | | |
| 副教材等 | Vision Quest総合英語 Ultimate 2nd Edition、 Vision Quest New English Grammar 47 WORKBOOK、英単語ターゲット1900、Next Stage | | | | |

| | |
|-------|--|
| 学習の目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりした内容について、やり取りをし、その内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする力を身に付けます。 2 日常的な話題について、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いる力を身に付けます。 3 CEFRのB1以上の取得を目標とします。 |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や文法書を利用して自分で調べてみましょう。 ・授業に意欲的に参加し、積極的に自分の意見を英語で表現したり、伝え合ったりしよう。 |

| 学期 | 単 元 | 学習活動とねらい |
|-------------|--|---|
| 1 学 期 | Lesson1 Friendship and improvement Lesson2 Which is better, a paper or an electronic dictionary? Lesson3 Can you change your personality? Lesson4 How do we make decisions? Lesson5 Online doctor consultations Lesson6 Healthy lifestyle Lesson7 What do you do after school? | <ul style="list-style-type: none"> ・留学中の学生の悩みを解決するためのアドバイスを書くことができます。 ・紙の辞書と電子辞書の良い点と留意点についてプレゼンテーションを行うことができます。 ・性格に影響を与えるものと性格は変えられるのかについて文章を書くことができます。 ・意思決定に関する授業レポートを書くことができます。 ・オンライン診療と対面診療を比較しそれぞれの利点を書くことができます。 ・高校生が生活スタイルを改善するためのアドバイスを書くことができます。 ・高校生にとって部活動は必要かどうか意見を書くことができます。 |
| 2 学 期 | Lesson8 Direct and indirect ways of communication Lesson9 Should we use social media? Lesson10 Are you a good user of social media? Lesson11 Lifetime employment or career changes? Lesson12 Diversity in the workplace Lesson13 The rise of the cashless society Lesson14 The gap is widening. | <ul style="list-style-type: none"> ・日本のコミュニケーションスタイルに関する自分の意見を書くことができます。 ・高校生にとってソーシャルメディアが有益かどうかに関するレポートを書くことができます。 ・高校生がソーシャルメディアを利用する際に直面しうる困難な状況と、どのようにしてそれを解決するかについて文章を書くことができます。 ・日本の終身雇用制度と転職について自分の意見をまとめることができます。 ・社会の多様性とどのようにして多様性を促すかについて文章を書くことができます。 ・電子決済のメリットとデメリットについてスピーチをすることができます。 ・社会の不平等さの解決策に関してスピーチをすることができます。 |
| 3 学 期 | Lesson15 What can we do to solve global warming? Lesson16 Saving the earth from plastic waste Lesson17 Innovations in machine translation Lesson18 Technological changes in agriculture Lesson19 Just knowing about SDGs is enough? Lesson20 Importance of education | <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化に関して原因と考えられる解決策についてプレゼンテーションを行うことができます。 ・機械翻訳の進歩についてディベートをすることができます。 ・将来の農業に関してプレゼンテーションを行うことができます。 ・SDGsのために私たちに何ができるかスピーチをすることができます。 ・世界の教育の状況を改善するために必要なことを話し合うことができます。 |

評価の観点と方法

| | ① 知識・技能 | ② 思考・判断・表現 | ③ 主体的に学習に取り組む態度 |
|------------------|---|--|--|
| 評 価 規 準 | 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 | コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができている。 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |
| 評 価 方 法 | 定期考査、パフォーマンステスト、小テスト | 定期考査、パフォーマンステスト、レポート課題 | 言語活動への参加状況、パフォーマンステスト |

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

| | | | | | |
|------|--|-----|------------------------------|----------|--------|
| 教科 | 理 数 | 科目 | 理数数Ⅱ・理数特論 | 学年 学科 類型 | 3年 理数科 |
| 単位数 | 7 | 教科書 | 高等学校数学C（数研出版）・ 高等学校数学Ⅲ（数研出版） | | |
| 副教材等 | サクシード数学Ⅲ+C〔ベクトル、複素数平面、式と曲線〕、チャート式解法と演習数学Ⅲ+C〔ベクトル、複素数平面、式と曲線〕 | | | | |

| | |
|-------|---|
| 学習の目標 | 数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間との関わりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解し、数学に対する興味・関心を高めるとともに、数学を活用していく能力を身に付けます。 |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書と並行して、教科書傍用問題集「サクシード」で演習を行います。予習・復習を徹底するとともに、疑問点の解消に向けて努力してください。 ・学習課題は必ず行い、提出物は期限までに必ず提出してください。 |

| 学 期 | 単 元 | 学 習 活 動 と ね ら い |
|----------|-----------------|---|
| 1 学 期 | 1 学 期 中 間 | 数学C 第4章 式と曲線 数学Ⅲ 第1章 関数 第2章 極限 <ul style="list-style-type: none"> ・2次曲線・関数・数列の極限について学習します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査を行います。 |
| | 1 学 期 末 | 数学Ⅲ 第3章 微分法 第4章 微分法の応用 <ul style="list-style-type: none"> ・微分法について学習します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査を行います。 |
| 2 学 期 | 2 学 期 中 間 | 数学Ⅲ 第5章 積分法とその応用 総合問題① <ul style="list-style-type: none"> ・積分法について学習します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査を行います。 |
| | 2 学 期 末 | 総合問題② 総合問題③ <ul style="list-style-type: none"> ・各分野の融合的な内容について問題演習を行います。 ・課題プリント、小テスト、定期考査を行います。 |
| 3 学 期 | 総合問題④ 家庭学習期間 | <ul style="list-style-type: none"> ・自主的かつ自発的な問題演習を行います。 ・課題プリント、小テストを行います。 |

評価の観点と方法

| | ① 知識・技能 | ② 思考・判断・表現 | ③ 主体的に学習に取り組む態度 |
|---------|---|--|--|
| 評 価 規 準 | 数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解しているとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に表現したりする技能を身に付けている。 | 関係式とその変量の変化に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力や事象に数学的構造を見出し、数理的に考察する力を身に付けている。 | 数学の良さを認識し、数学を活用したり、粘り強く考えたり、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善したりしようとしている。 |
| 評 価 方 法 | 定期考査 小テスト | 定期考査 小テスト | 発表 取組観察状況 |

- (備考)
- 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 - 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

| | | | | | |
|------|-----------------------|-----|---------------------|--------------------|--------|
| 教科 | 理 数 | 科目 | 理数物理 | 学年 学科 類型 | 3年 理数科 |
| 単位数 | 4 | 教科書 | 物理基礎（数研出版） 物理（数研出版） | | |
| 副教材等 | 物理基礎・物理実験ノート（高教研理科部会） | | セミナー物理基礎＋物理（第一学習社） | フォトサイエンス物理図録（数研出版） | |

| | |
|-------|---|
| 学習の目標 | 1 物理的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高めます。 2 目的意識をもって観察、実験を行い、物理学的に探究する能力と態度を養います。 3 物理学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め、科学的な自然観を育成します。 |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な物理現象を話題に取り上げたり、観察、実験などの体験的な活動を行ったりしながら、物理学における基本的な概念や原理・法則が、実感を伴って理解できるように授業を進めます。 ・知的好奇心と、知識・理解を活用しながら探究する姿勢を維持し、演習問題に取り組みましょう。 |

| 学 期 | 単 元 | 学 習 活 動 と ね ら い |
|----------|---|--|
| 1 学 期 | 第3編 波 第2章 音の伝わり方 第3章 光 第4編 電気と磁気 第1章 電場 第2章 電流 | <ul style="list-style-type: none"> ・音波の基本的性質について復習したうえで、音波の波としての諸性質、すなわち反射・屈折・回折・干渉について学習します。 ・ドップラー効果が水面波や光など、あらゆる波について起こる現象であることを学びます。また、波源が動く場合には、観測者の運動に関係なく波長が変化することを学習します。 ・光の性質、レンズ、光の干渉と回折についての実験を行い、そのデータをもとに、基本的な概念や原理・法則を学習します。 ・電気と磁気に関する基本的な概念や原理・法則を系統的に理解するとともに、静電気のはたらきについて定性的・定量的に検討を加え、静電気に関する理解を深めます。 ・電流によって運ばれたエネルギーを光や音、熱、動力に変換する技術の基礎になるはたらきについて学習します。 |
| 2 学 期 | 第3章 電流と磁場 第4章 電磁誘導と電磁波 第5編 原子 第1章 電子と光 第2章 原子と原子核 物理学が築く未来 | <ul style="list-style-type: none"> ・電流がつくる磁界、電磁力について学習します。 ・電磁誘導に関する実験などを行い、磁束の変化と誘導起電力の向きや大きさとの関係を理解するとともに、交流の発生や電磁波の性質について学習します。 ・電子、原子及び原子核に関する現象を観察、実験などを通して探究し、原子についての基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、電子の電荷と質量、電子や光が粒子性と波動性の両方の性質をもつことを学習します。 ・原子の構造、原子核の構成等について学習します。 |
| 3 学 期 | 問題演習 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テスト及び国公立大学二次試験対策を行います。 |

評価の観点と方法

| | ① 知識・技能 | ② 思考・判断・表現 | ③ 主体的に学習に取り組む態度 |
|---------|--|---|--|
| 評 価 規 準 | 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 | 物理的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 | 物理的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |
| 評 価 方 法 | 課題、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査 | 課題、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査 | 課題、発表、行動の観察、実験ノート、パフォーマンステスト、定期考査 |

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査を実施しない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

| | | | | | |
|------|---|-----|--------------------|----------|--------|
| 教科 | 理 数 | 科目 | 理数化学 | 学年 学科 類型 | 3年 理数科 |
| 単位数 | 4 | 教科書 | 化学 academia (実教出版) | | |
| 副教材等 | 化学基礎・化学実験ノート (高教研理科部会化学部門)、サイエンスビュー新化学資料 (実教出版) | | | | |

| | |
|-------|--|
| 学習の目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 身近な生活に関係深い有機化合物に対する興味と理解を深め、探究する態度と能力を身に付けます。 2 合成高分子化合物や天然高分子の種類や分子構造・合成方法を学び、その性質や特性を知ります。 3 実験や観察を通して、化学的な自然観を身に付けます。 |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活に使われている有機化合物や合成高分子について、理論と実験結果を関連付けながら考察してください。 ・発展的な問題に取り組めるよう、既習の学習内容を定着させ、応用できるように工夫してください。 |

| 学期 | 単 元 | 学習活動とねらい |
|---------|--|---|
| 1 学期 | 1章 物質の状態と平衡 4節 溶液 2章 物質の変化と平衡 3節 反応の速さとしくみ 4節 化学平衡 | <ul style="list-style-type: none"> ・物質が水に溶解するしくみを理解し、薄い溶液の性質を学習します。また、生物体などのほか、身近なところに数多く存在するコロイド溶液についても、身近な現象と結びつけながら学習します。 ・化学反応について、その反応の速さの違いや、化学平衡の状態について、反応のしくみとあわせて学習します。 ・可逆反応における平衡状態は平衡定数で表されることを学習します。また、化学平衡は濃度・圧力・温度で移動することを実験により学習します。 ・課題プリント、行動の観察、観察・実験の観察、実験ノート、定期考査、小テスト |
| 2 学期 | 5章 高分子化合物 1節 高分子化合物 2節 天然高分子化合物 3節 合成高分子化合物 | <ul style="list-style-type: none"> ・生体を構成する有機化合物にはどのようなものがあるのか学び、その性質について理解します。 ・生体を構成する高分子化合物にはどのようなものがあるのかを学びます。 ・合成高分子化合物について、分類と構造を学びます。また、特質である熱可塑性、熱硬化性についても学びます。 ・合成繊維と合成樹脂について、材料の組成や構造がその特性とどのように関連しているのかを理解します。 ・課題プリント、行動の観察、観察・実験の観察、実験ノート、定期考査、小テスト |
| 3 学期 | 問題演習 | <ul style="list-style-type: none"> ・化学についての法則や知識が暗記的にならないよう、化学的に推論し、理解する力を身に付けます。 ・課題プリント |

評価の観点と方法

| | ① 知識・技能 | ② 思考・判断・表現 | ③ 主体的に学習に取り組む態度 |
|--------------|--|--|--|
| 評価 規 準 | 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 | 観察、実験などを行い、科学的に探究している。 | 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 |
| 評価 方 法 | 定期考査、授業ノート、行動の観察、観察・実験の観察(パフォーマンス評価)、小テスト、実験レポート | 定期考査、授業ノート、行動の観察、観察・実験の観察(パフォーマンス評価)、小テスト、実験レポート | 定期考査、授業ノート、行動の観察、観察・実験の観察(パフォーマンス評価)、小テスト、実験レポート |

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

| | | | | | |
|------|--|-----|----------|----------|--------|
| 教科 | 理 数 | 科目 | 理数生物 | 学年 学科 類型 | 3年 理数科 |
| 単位数 | 4 | 教科書 | 生物（数研出版） | | |
| 副教材等 | セミナー生物（第一学習社）・生物基礎実験ノート・問題集（愛媛県高等学校教育研究会理科部会編） | | | | |

| | |
|-------|--|
| 学習の目標 | 1 実験・観察を通して、生物におけるさまざまな生命現象の共通性と多様性を理解します。 2 実験・観察を通して実験方法や観察方法、考察の仕方などの技術を習得し、自らが探究していく能力を養います。 |
| 学習の方法 | ・幅広い内容を深く学習していきますので、授業に集中することが大切です。 ・家庭学習では復習に重点を置き、教科書や資料集等を熟読するとともに、問題集を繰り返し解くことで、学んだ内容を定着させるように心掛けてください。 |

| 学期 | 単 元 | 学習活動とねらい |
|---------|--------------|--|
| 1 学期 | 第5章 動物の反応と行動 | ・神経系における情報伝達のしくみや、受け取った情報をもとにどのような行動が現れるのかを学習します。 ・課題プリント、発表、観察・実験の観察、定期考査 ・植物が環境からどのように刺激を受け取り、それに対してどのような反応が現れるのかを学習します。 ・課題プリント、発表、行動の観察、定期考査 ・地球上にはさまざまな環境があり、その中で多様な生物が共存している様子について学習します。 ・生態系の中で、異種の生物どうしが互いにかかわりあいながら生活している様子について学習します。 ・課題プリント、発表、行動の観察、定期考査、ポートフォリオ評価 |
| | 第6章 植物の環境応答 | |
| | 第7章 生物群集と生態系 | |
| 2 学期 | 第7章 生物群集と生態系 | ・近年重要性が叫ばれている生物多様性とその保全について考えます。 ・課題プリント、発表、観察・実験の観察、定期考査、ポートフォリオ評価 ・地球上に生命が誕生して以来、生物がどのような道筋をたどって現在の生物の世界ができたのかを学習します。 ・課題プリント、発表、観察・実験の観察、定期考査 ・多様な生物にも様々な共通点や連続性が見られます。この多様な生物をどのように分類できるのかについて学習します。 ・課題プリント、発表、行動の観察、定期考査、ポートフォリオ評価 ・1学期に学習した内容について復習し問題演習を行います。 ・課題プリント、発表、行動の観察、定期考査 |
| | 第8章 生命の起源と進化 | |
| | 第9章 生物の系統 | |
| | 総合演習 | |
| 3 学期 | 総合演習 | ・2学期に学習した内容について復習し問題演習を行います。 ・大学入試に向けた実践的な問題演習を行います。 ・課題プリント、発表、行動の観察 |

評価の観点と方法

| | ① 知識・技能 | ② 思考・判断・表現 | ③ 主体的に学習に取り組む態度 |
|--------------|--|---|--|
| 評価 規 準 | 考査の得点により知識・技能を身に付けていることを評価する。 課題プリントや実験ノート、の取組状況により、「知識・技能」を身に付けていることを評価する。 | 定期考査の思考力問題の得点や、課題プリント、実験ノート、ポートフォリオ(レポート)の取組状況により、「思考・判断・表現」力を身に付けていることを評価する。 | 観察・実験に意欲的に取り組んでいるか、その行動観察や実験ノート・課題プリントの取組状況により、「主体的に学習に取り組む態度」を身に付けていることを評価する。 |
| 評価 方 法 | 定期考査 課題プリント(パフォーマンス評価) 実験ノート | 定期考査 実験ノート ポートフォリオ評価(レポート) 課題プリント(パフォーマンス評価) | 実験ノート 行動の観察 観察・実験の観察 ポートフォリオ評価(レポート) 課題プリント(パフォーマンス評価) |

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和7年度 シラバス

| | | | | | |
|------|--|-----|------------------|----------|--------|
| 教科 | SS | 科目 | STREAM探究Ⅱ | 学年 学科 類型 | 3年 理数科 |
| 単位数 | 1 | 教科書 | 本校で作成したプリントおよび資料 | | |
| 副教材等 | 理科課題研究ガイドブック～どうやって進めるか、どうやってまとめるか～（千葉大学先進科学センター） | | | | |

| | |
|-------|---|
| 学習の目標 | <p>1 「STREAM探究基礎」「STREAM探究Ⅰ」の研究成果をまとめます。アウトプットに係る活動を積極的に行い、研究の深化と課題発見力・科学的探究力、多面的思考力の充実に努めます。</p> <p>2 英語による研究発表やサイエンスディスカッションを通して国際性を身に付けていきます。</p> |
| 学習の方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「STREAM探究基礎」「STREAM探究Ⅰ」で行った課題研究の成果をまとめ、科学論文コンテスト等へ出品します。 ・ 外国人研究員による出張講義をもとにレポートをまとめたり科学論文の講読を行ったりします。 |

| 学期 | 単 元 | 学習活動とねらい |
|---------|---------------|--|
| 1 学期 | 1 課題研究 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 追実験や考察の再検証を行い、研究の精度を高めていきます。 ・ 1、2年次の課題研究の成果や修正の内容を論文にまとめる活動を通じて、科学的に探究する力や多角的に思考する力を高めます。 ・ 科学系コンテストへの出品や発表会への参加を通じて、協働性やコミュニケーション力を高めます。 ・ 研究の成果を英語で論文やポスターにまとめ表現する力を身に付けていきます。 ・ 英語によるサイエンスディスカッションを行います。 |
| 2 学期 | 2 キャリアデザイン探究① | <ul style="list-style-type: none"> ・ 統計処理の応用的内容を学習します。 ・ 線形代数の基本と応用、微分方程式の基本と応用を学習します。 ・ 理数物理／理数生物の発展的・複合的分野（高大接続を意識した学習内容）の基礎概念について学習します。 ・ 先端的な科学技術や複合分野に関するレポートを作成する活動を通じて、自己のキャリア形成について考えていきます。 |
| 3 学期 | 3 キャリアデザイン探究② | <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門書や科学論文等の講読、研究内容の振り返りを通じて、キャリアデザインを具体化させていきます。 |

評価の観点と方法

| | ① 知識・技能 | ② 思考・判断・表現 | ③ 主体的に学習に取り組む態度 |
|--------------|--|---|--|
| 評価 規 準 | <p>科学的な見地から実験結果等を正確に検証し、論文としてまとめることができる。</p> <p>適切な分析方法、検証に基づいてグループでの評価及び個人のレポートをまとめることができる。</p> | <p>複数のデータや研究成果の客観的根拠に基づく検証により、論理を構築し、論文としてまとめられている。</p> <p>科学英語について、研究に関する質疑に適切に応答することができる。</p> <p>理数科目については、複合的部分に対して筋道立てて正確に説明することができる。</p> | <p>コンテストへの出品に向けた班員との協働的な活動、よりよい作品を目指す粘り強い取組を行うことができる。</p> <p>科学的な視点から、多角的に検証したり、よりよい研究へと進化を図ろうとする。</p> |
| 評価 方 法 | 課題研究論文評価 レポート評価 | 課題研究論文評価 レポート評価 単元別テスト 口頭試問 | 課題研究論文評価 レポート評価 パフォーマンステスト |

（備考） 定期考査は実施しない。